

25級

第1回

主語・述語

「アメンボはにん者か」

月	日
---	---

全部できましたか？

☆ ☆ ☆

◆ 次の漢字と読みを書きなさい。☆☆☆

関 かん
せき
かか
わ
る
(14画)

関 かん

関
係

ゴミの問題に

心がある。

特 とく
とく
(10画)

特 とく

特
別

今日は

に暑い。

別 べつ
わか
れる
(7画)

別 べつ

別
れ道

友だちと駅で

れた。

浅 あさ
あさ
い
(9画)

浅 あさ

浅
遠

い川で魚をつつた。

◆ 次の文を二つに分けて書き、主語・述語を答えなさい。
例 かわいい子ネコが道ばたで鳴いている。
☆☆☆

かわいい子ネコが

道ばたで鳴いている

主語 () 子ネコが () 述語 () 鳴いている ()

一 小さなぼうしが木の下に落ちている。

()

主語 () () 述語 ()

二 夏みかんのにおいがかすかに残った。

()

主語 () () 述語 ()

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ☆☆☆☆☆

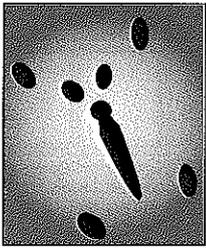
ちよつとした池や水たまり、または、ゆるやかな流れの水面をしばらく見ていると、アメンボが何びきか見つかることがあります。

アメンボは水面に軽々とういて、すいすいと走っています。まるで水面でスケートをしているようです。昔、にん者たちは、特別なげたのようなものをはいて、水面を走っていったといわれています。でも、アメンボににん者のげたはありません。

どうして、あんなにうまく水面にうかんだり、走ったりすることができなのでしょう。

池や水たまりの浅い所では、天気の良い日に、水底にアメンボのかけがうつっていることがあります。それは、なんとなく不思議なかけです。まず、真ん中にアメンボの体のかけ。これは、アメンボと同じくらいの長さで太さのぼうのように見えるので、アメンボのかけだということはすぐに分かります。けれど、その周りには、四つか六つの丸いかけが必ずあるのです。これはいったい何でしょう。

それはアメンボの足の先のかげなのです。いえ、もっと正かくに言えば、アメンボの足先でおされてくぼんだ水面のかけなのです。



一 アメンボは、どんなところで見つかりますか。

二 四つか六つの丸いかけは何ですか。正かくに言いなさい。

三 の中とわわしい言葉を書きなさい。

アメンボにはにん者の はありませんが、

水面に ういて、まるで

をしているように、すいすいと走っています。

浅い水底にうつっているアメンボの は

不思議に見えます。真ん中のアメンボの

の周りに、四つか六つの

が必ずあります。

主語・述語

「アメンボはにん者か」

月	日
---	---

全部できましたか？

☆☆☆

◇次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

底

底	そこ
テイ	

(8画)

底

海底

川

川	そこ
---	----

に白い石がならんでいる。

不

不	ブフ
---	----

(4画)

不

不安

要	ぶ
---	---

要なものを捨てる。

議

議	ギ
---	---

(20画)

議

不思議

学級会で活発に

論	ギ
---	---

論した。

周

周	まわ	まわ
シユウ		リ

(8画)

周

周囲

池

池	まわ
---	----

りを散歩する。

◇次の文を二つに分けて書き、主語・述語を答えなさい。

☆☆☆

一 ぼくのおじさんは畑で作物を育てる。

主語 () (述語) ()

。

二 わたしは言葉の意味を調べた。

主語 () (述語) ()

。

三 山本さんの乗った電車が駅に着いた。

主語 () (述語) ()

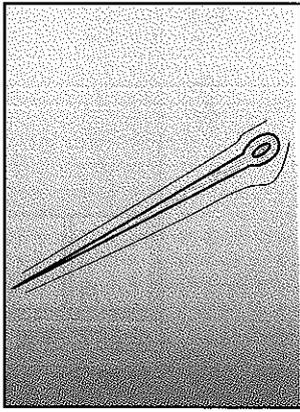
。

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ☆☆☆☆☆

アメンボと同じくらいのはりを、水面にそつと水平に置いてみましょう。ふつうに置いたら、はりには重さがありますから、すぐ水中へしずんできてしまいます。けれどそのはりに、油かバターをごくうすくぬってみると、はりはちゃんと水面にうかびます。

うかんだはりをよく見てください。はりの重みではりの周りの水面がくぼんでいるのが分かるでしょう。くぼんだ水面は、元の平らなじょうたいにもどろうとして、はりをおし上げます。このときに働く力を水の「表面張力」といいます。油をぬって水をはじくようにしたはりは、この水の表面張力のおかげで水面にういているのです。

アメンボが水面に立っていられるのも、同じりくつです。アメンボの足の先は、水をはじくようになっています。体の中から少しづつ油を出すしくみがあるからです。その足を広げて、アメンボが水面に立つと、それぞれの足の先は水面をおしてくぼませます。すると水の表面張力によって、アメンボは水面にうかぶのです。



一 はりを水面にふつうに置いたら、どうなりますか。

二 アメンボの足の先には、どんなしくみがありますか。

三 の中にふさわしい言葉を書きなさい。

油か

をうすくぬった、アメンボと同

じくらしいの

のはりを水面にそつと

に置くと、はりはちゃんとうかびます。

水の「表面張力」は、はりの

でくぼん

だ水面が、元の

なじょうたいにもどろう

として、はりを

力です。

主語・述語

「アメンボはにん者か」

月	日
---	---

全部できましたか？

☆☆☆☆

◇次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

かならず	必
ヒツ	かならず

(5画)

必	

必

要

かならず

ず朝六時に集まること。

◇次の漢字を書きなさい。☆☆

一 アメンボのかけは

ふ

思

ぎ

な形をしている。

二 い水の

そこ

に光がゆれている。

三 リの自然を大切にす

まわ

る

ひつ

要がある。

四 わたしはかんきょう問題に

をもっている。

とく

べつ

な

かん

心

◇次の二文を一文に書きかえなさい。

☆☆☆☆

例 わたしは、きのう本屋へ行きました。

そして、本を二冊買いました。

わたしは、きのう本屋へ行き

本を二さつ買いました

一 二階は見晴らしがよい。

そして、日当たりもよい。

二 小屋の中は暗かった。

そして、じめじめしていた。

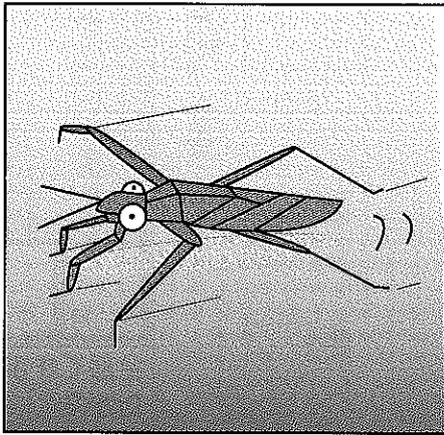
◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ☆☆☆☆☆

でもこれだけだと、アメンボは水面に立っているだけです。すすい走ることはできません。

アメンボの足は六本ありますが、そのうち、二本の前足と二本の後足の先で水面に立ち、残りの二本の中足の先を、走るためのオールにしています。中足は、ごく先の部分しか水をはじかないので、アメンボは根元の方まで水の中につっこんで、オールのように動かすのです。

ところで、水の上でくらくらしているアメンボは、いったい何を食べて生きているのでしょうか。

アメンボは、うっかり水面に落ちてばたばたもがいている虫を食物にしています。もがいている虫は、水面に小さな波を立てます。アメンボは前足の先でその波をキャッチし、中足のオールを動かして、急いでその方へかけつけます。そして、するどいくちばしを虫にさし、体のしるをすうのです。



一 アメンボはどの足を使って水面に立ちますか。

と

二 アメンボは走るために中足をどのように動かしますか。

水の中につっこんで、
のように動かします。

三 の中にふさわしい言葉を書きなさい。

アメンボの食べ物は、うっかり に落ちて
ばたばた 虫です。アメンボは前

足の で、もがいている虫が水面に立てる小
さな をキャッチして、急いでその方へかけ

つけます。そして体の をすうために、する

どい を虫にさします。

主語・述語

「アメンボはにん者か」

月

日

全部できましたか？

☆

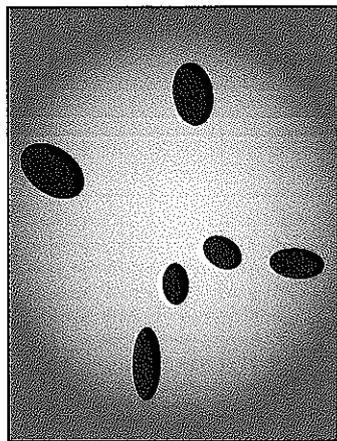
こ

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

☆☆☆☆☆

このアメンボが水面を走るとき、水面にできる丸
 いかげは四つです。おなかがいっぱいになったり、
 つかれたりすると、アメンボは中足の先も水面につ
 けて休めます。そのとき、くぼんだ水面の丸いかげ
 は六つになります。

水の中には、いろいろな水生こん虫がすんでいま
 すが、それらの多くは、生きた小魚やおたまじやく
 しをつかまえて食べ物にしています。けれども、ア
 メンボは、水の表面に落ちてきた虫だけをねらって
 食べるという生き方をするようになったこん虫なの
 です。そのために、アメンボは自分の足の先で水面
 にかぶることができ、
 また、にん者の特別な
 げたなどなしに、自分
 の体だけで、この水
 面でも走ることができ
 るようになりました。

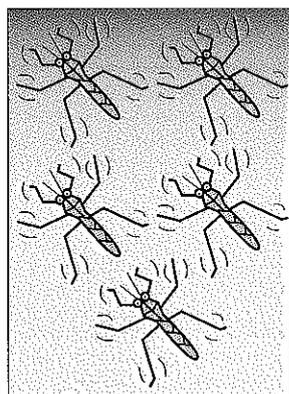


このように、アメンボは水面のこん虫として生き
 ているのですが、人間がせんざいや石けんなどを水
 に流しこんでよごしたりすると、大変なことになる
 ます。よごれた水の表面張力はとても小さくなるの
 です。アメンボは、小さくて軽いけれど、重さはあ
 ります。よごれた水の表面張力では、とてもその重
 さをささえきれません。アメンボがいくら足をふん
 ばっても、ずぶずぶと水にしずんでいって、おぼれ
 てしまうのです。

そのため、アメンボがわたしたちの近くからほと
 んどすがたを消してしまった時代もありました。し
 かし、みんながかんきょうのことに気をつけるよう
 になってから、また少しずつふえてきました。

気づきにくいのは、人間にとってはほんの少しの
 せんざいでも、アメンボにとっては生きていけなく
 なるということです。

わたしたちの周りに、きれいな池や小川があり、
 たくさんのアメンボのス
 ケートが見られる、そんな
 自然を大切にしていきたい
 ものです。



(日高敏隆「アメンボはにん者か」)

一 水面にできる丸いかげは、どんなときにできますか。

・四つ…アメンボが

・六つ…

、つかれたりするとき。

二 水の中の水生ごん虫の多くは、何を食べていますか。

三 アメンボが、食べるのは何だけですか。

四 水面で生きるためにアメンボは、何ができるようになりますか。

で水面にうかぶことがで

き、
だけで、どここの水面でも

ができるようになりました。

五 せんぎいや石けんなどを水に流してよごすと、よごれた水はどうなりますか。

六 よごれた水ではアメンボはどうなってしまうか。一文をそのまま書きなさい。

七 わたしたちが気づきにくいのは、どんなことですか。

にとっては

のせん

ざいでも、

にとっては

ということですよ。

主語・述語

「ツバメがすむ町」

月	日
---	---

全部できましたか？

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◇ 次の漢字と読みを書きなさい。 ☆ ☆

巢 (11画)

す	す
---	---

巢箱

ツバメの [] を調査する。

街 (12画)

まち	まち
----	----

街地

商店 [] で買い物をする。

協 (8画)

キョウ	キョウ
-----	-----

協力

みんなと [] 同で作業した。

録 (16画)

ロク	ロク
----	----

録記

映画を [] 画した。

◇ 次の文を二つに分けて書き、主語・述語を答えなさい。 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

一 となりのおじさんが大きな荷物を運んでいる。

主語 () ()

述語 () ()

二 このえんぴつの長さはおよそ二十センチだ。

主語 () ()

述語 () ()

三 わたしの兄さんはインターネットを使っています。

主語 () ()

述語 () ()

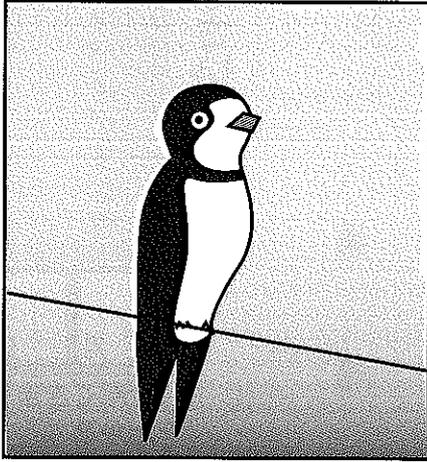
◇ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ☆☆☆☆☆

ツバメやカラス、スズメは、町なかで見られる、わたしたちになじみ深い野鳥です。なかでもツバメは、家ののき下やかべに巣を作り、人間の近くで子育てをします。

そのツバメが、わたしの住んでいる京都市内でへってきたという話を聞きました。そう言われてみると、「本当に数がへっているのか、本当だとしたら、なぜなのか。」といったぎもんがわいてきました。

そこで、京都の市街地で、ツバメがどんな場所に巣を作っているのかを調べてみることにしました。京都に住む人たちによびかけたところ、およそ六百人の人が協力してくれました。

調査を行ったのは、一九九三年の五月の半ばすぎです。たまごからかえったひな鳥に、親鳥が、活発に食べ物を運んでいるすがたを見ることができるとき期です。



一 ツバメはどこで子育てをしますか。

で子育てをします。

二 五月の半ばすぎは、どんな時期ですか。一文をそのまま書きなさい。

三 の中からわしい言葉を書きなさい。

京都市内で、

がへってきたという話を

聞いて、本当にそうなのかという

がわ

いてきました。

もの京都に住む人たちの

を

えて、一九九三年の

すぎにツバメが

どんな場所に

を作っているのかを調査しま

した。

主語・述語

「ツバメがすむ町」

月	日
---	---

全部できましたか？

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◇次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

フ	つく
---	----

(5画)

付

寄

付

巣箱を取り

ける。

ケツ	むすぶ
----	-----

(12画)

結

結

果

ロープを

ぶ。

カ	はたす
---	-----

(8画)

果

成

果

検査の結

健康だった。

イ	くらしい
---	------

(7画)

位

位

置

五十メートル走で一

になった。

◇次の文を二つに分けて書き、主語・述語を答えなさい。☆☆☆☆

一 十年間父はミツバチを研究してきた。

主語 ()

() 述語 ()

二 山の上からの夜景はとてもすばらしい。

主語 ()

() 述語 ()

三 わたしたちの町は緑を大切にしている。

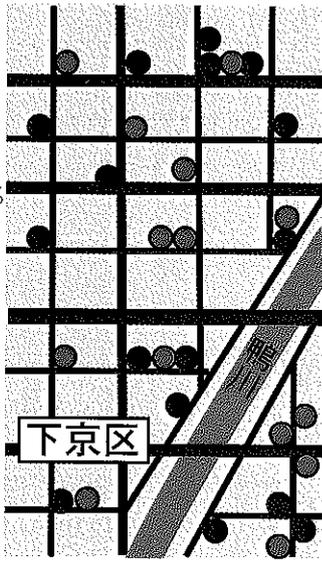
主語 ()

() 述語 ()

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ☆☆☆☆☆

一けんずつの家がのっている住たく地図と書きこみ用紙を持ち、二人一組になって調べます。わり当てられた地図にある道をすべて歩き、道に面した家ののき下を一けん一けんのぞきこんでいきます。ツバメの巣や巣台があるのを見つけたら、地図に場所を記録します。そして、その家の人に、「今年はツバメが来ましたか。」「ひなは何羽育ちましたか。」「去年はツバメが来ましたか。」「何年前からツバメが来ていますか。」などとしつもんして、書きこみ用紙になるべくくわしく書きます。聞き取りを終えたら、家のどこにツバメの巣があるか、巣台が取り付けられているか、家が木造かどうかなども記録します。

みんなの調べた結果を持ちより、一万分の一の地図に、見つけた巣の位置を記して、ツバメ地図を作りました。今年ツバメが来た巣は赤い丸、来なかった巣は青い丸です。



(注) ●は赤い丸を示している。

一 ツバメの巣や巣台のある家の人にどんなしつもんをしますか。すべて書きなさい。

「	」	「	」
「	」	「	」

二 [] の中にふさわしい言葉を書きなさい。

調査は二人

[]

になって、

[]

地図

と書きこみ

[]

を持ち、わり当てられた

[]

[] があるすべての道を歩いておこないます。ツ

バメの巣や

[]

がある場所を地図に

[]

し、その家の人にいろいろ

[]

して、書き

こみ用紙に

[]

くわしく書きます。

主語・述語

「ツバメがすむ町」

月	日
---	---

全部できましたか？

☆

こ

◇ 次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

続	つづ	く
---	----	---

(13画)

続	
---	--

連

続

梅雨で雨がふり

つづく。

◇ 次の漢字を書きなさい。☆☆

一 市

がい

地の人々の

きょう

カで、ツバメの

す

を調査した。

二 調べた

けつ

か

を記

ろく

する。

三 自分の家の

い

置を地図に記す。

四

ふ

近のようすを三年間

つづ

けて観察する。

◇ 次の二文を一文に書きかえなさい。

例 新幹線はとても速い。

また、ゆれも少ない。

新かん線はとても速く

ゆれも少ない

一 こんぶのスープはおいしい。

また、栄養もある。

二 かげで熱が高かった。

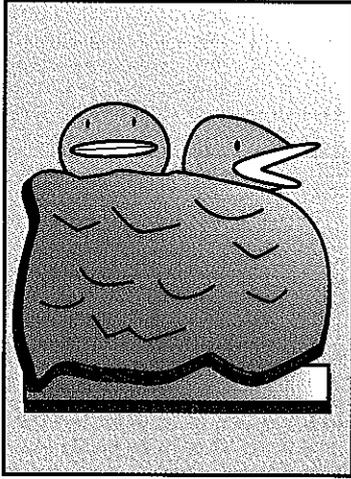
また、のども痛かった。

☆☆☆

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ☆☆☆☆☆

調査の結果、京都市の中心部の上京、中京、下京、東山の四区には、巣のある家が六百十けんあり、そのうち二百八十五けんの巣が使われていることが分かりました。ツバメの巣があるのは、げん関が表通りに面した家にかぎられ、その八十四パーセントが木造でした。

京都には、道はばが三メートルもない細い道路がたくさんありますが、ツバメは、そうした道はばのせまい所には巣を作りません。また、広い表通りに面していても、ほとんど人が住んでいない京都御所や二条城などには、巣が一つもありません。ぎやくに、ツバメの巣が多いのは、古くからの商店街です。米屋さんや酒屋さんのような、人がにぎやかに出入りする家に巣を作ることが多いのも分かりました。



一 ツバメの巣があるのは、どんな家にかぎられていますか。

二 ツバメの巣が多いのは、どんな造りの家でしたか。

三 の中にふさわしい言葉を書きなさい。

京都にたくさんある、三メートルもない道はばの にはツバメは を作りません。また、京都御所や二条城など、広い表通りに いても、ほとんど 住んでいない所には、巣は ありません。

ぎやくに、 の商店街にはツバメの巣が多く、人が 出入りする米屋さんや のような家に多いのも分かりました。

「ツバメがすむ町」

月

日

全部できましたか？

☆

こ

◇ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

☆☆☆☆☆

ツバメの天敵は、ヘビ、カラス、イタチ、ネコなどです。人の出入りの多い、にぎやかな場所では、人間がこうした天敵から守ってくれることを、ツバメは知っているようです。

わたしたちは、次の年から下京区と東山区にしほり、調査を続けてみました。すると、その後の五年間で、使われている巣の数が、東山区では八十九から少しづつふえていったのに対して、下京区では六十三から半分へってしまったのです。

下京区は、都市開発がさかんで、古い民家がこわされてビルや駐車場に変わってきました。その結果、昼間は人が多くても、夜には人気のない町に変わったのです。また、夜のうちに出されるごみをねらって、カラスもふえました。食べ物足りなくなりました。ツバメの巣をおそいます。

ツバメたちは、人間のいない町ではくらしていきず、すがたを消していったのでした。

全体として、ツバメはへっていました。そして、へり方のはげしい所は、町の様子が変わったためであることが分かりました。

京都の多くの家では、なんとかツバメをよびもとそうと、巣台を置くなどのくふうをしています。人々は、ツバメが自分の家に巣を作り、同じ町でくらすことを望んでいるようです。それは、自分たちのくらす場所が、決して人間だけのものではないことを知っているからでしょう。

(川道 美枝子「ツバメがすむ町」)



一 人間が何から自分たちを守ってくれることをツバメは知っていますか。四つ書きなさい。

--	--	--	--

二 五年間の調査で、使われている巣の数が次のようになつたのはどこですか。

・ 少しずつふえた……	
・ 半分にへつた……	

三 都市開発がさかんな下京区はどんな町になりましたか。

・ 古い		がこわされてビルや	
		に変わった。	
・ 人が多い		に対して、夜には	
		町に変わった。	

四 下京区ではツバメはどうなりましたか。一文をそのまま書きなさい。

--

五 ツバメのへり方がはげしい所は、どうなっていましたか。

--

六 京都の多くの人々は何を望んでいますか。そしてそれはどうしてですか。

ツバメと		でくらせるように、なんとか
ツバメを		と、くふうしています。
自分たちの		場所が、決して
		のものではないことを知っているからです。